



環境工学講座

講師

坂本 正樹
(1981生)

理学博士

(信州大学・平 20)

■経歴

信州大学理学部生物科学科卒 (平 16.3) / 信州大学大学院工学系研究科博士前期課程修了 (平 18.3) / 信州大学大学院総合工学系研究科博士課程修了 (平 20.3) / 日本学術振興会特別研究員 PD (独立行政法人国立環境研究所・環境リスク研究センター・生態リスク評価研究室所属、平 20.4-22.3) / 富山県立大学工学部環境工学科講師 (平 22.4) / 東洋大学生命環境科学研究センター客員研究員 (平 26.10)

担当科目	環境微生物学 / 環境基礎生物学 / 水圏生物学 / 水圏生物実験 / 専門ゼミ / プレゼンテーション演習 / フィールド実習 / 環境応用生態学 (大学院)
専門分野	生態学 / 生態毒性学 / 陸水学
論文・報告	<p>「Role of prey-predator interactions in structuring zooplankton community and disturbance by insecticide on them」(学位論文, 2008)</p> <p>「Acute toxicity of copper to Daphnia galeata under different magnesium and calcium conditions」(Limnology, 2017)</p> <p>「Diversification of mitochondrial genome of Daphnia galeata (Cladocera, Crustacea) : Comparison with phylogenetic consideration of the complete sequences of clones isolated from five lakes in Japan」(Gene, 2017)</p> <p>「Long-term zooplankton community records (1996-2017) for Lake Suwa (Japan)」(Ecological Research, 2017)</p>
著書	「シリーズ現代の生態学 9 淡水生態学のフロンティア」(共立出版, 2012) 分担執筆
所属学会	日本生態学会 (平 16 ~) / 日本陸水学会 (平 21 ~) / 日本環境毒性学会 (平 25 ~)
学会委員等	Associate Editor of Limnology (平 27.1 ~) / 日本環境毒性学会幹事 (平 28.9 ~) / 日本陸水学会甲信越支部会幹事 (平 28.11 ~)
受賞歴	日本環境毒性学会奨励賞 (平 19.9) / International Symposium on River and Lake Environment "Best Talk Award" (平 19.10) / 日本陸水学会優秀ポスター賞 (平 21.9) / 日本環境毒性学会奨励賞・ポスター (平 26.9) / 日本環境毒性学会 CERI 学会賞 (平 28.9) / 陸水学雑誌論文賞 (平 29.9)

■現在の研究課題

人間活動による河川・湖沼生態系構造・機能への影響を定量的に評価することを目的として、生物群集動態を制御する環境要因と生物間相互作用の役割について研究しています。

1. ミジンコ類の表現型可塑性と化学物質による攪乱影響の評価 (科研費基盤 C H29.4-H31.3 代表)
2. 人為由来環境変化に対する生物の適応戦略と小進化 (平成 26-30 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 分担)

■共同研究キーワード

生態系 / 水環境 / 化学物質 / 生態系操作